

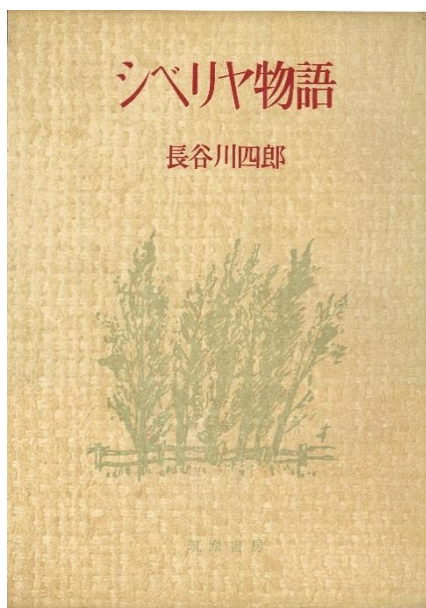
朗読とトーク

長谷川四郎 物語の声

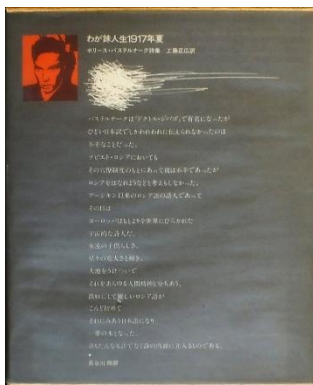
朗読・トーク 工藤正廣

(ロシア文学者、当館館長)

ロシア文学者、作家として活躍する当館館長工藤正廣氏が、長谷川四郎の名作『シベリヤ物語』から「勲章」を朗読・解説します。1972年に翻訳したパステルナーク詩集『わが妹人生』に、長谷川四郎が推薦文を寄せてくれたというご縁についても紹介いただきます。朗読とお話のひとつをぜひ一緒に。



長谷川四郎『シベリヤ物語』 筑摩書房
1952年



工藤正廣訳

『わが妹人生 1917年夏―ボリス・パステルナーク詩集』
鹿岩社 1972年

箱には、長谷川四郎による推薦文が掲載されている。

2025

10月11日(土)

14:00~15:30

当館講堂(無料)

*お電話でお申し込みが必要です。

011-511-7655 (北海道立文学館)

先着順、定員 60 名



工藤正廣 かどうかさひろ

1943 年青森県黒石市生まれ。ロシア文学者・詩人・翻訳家。北海道大学文学部露文科卒業後、東京外国語大学大学院修了。モスクワ大学への留学を経て、北海道大学教授を務め、現在は名誉教授。ボリス・パステルナークの詩を中心に、ロシア・ポーランド文学の翻訳と研究に尽力。詩人としても津軽方言を用いた作品を発表し、文学誌『黎』『オリザ』などで創作・評論活動を展開する。2021 年『チューホフの山』で毎日出版文化賞特別賞を受賞。

特別展「長谷川四郎とそのきょうだい」

2025 年 9 月 6 日(土)~11 月 9 日(日) 北海道立文学館特別展示室

大正から昭和、文学や絵画などに独自の足跡を記した函館出身の 4 人の兄弟——長谷川海太郎、湊二郎、濤、四郎の活躍を紹介します。中でも、戦後文学に特異な位置を占める四郎の仕事に注目します。

